

# しゅうけい 滋賀

No.105 平成22年10月発行



社団法人 滋賀県造園協会  
職業訓練法人



近江八幡市北之庄の水郷風景 (小西新次氏提供)

## ● contents

■ 平成22年度通常総会開催……………	1
■ 会長就任挨拶……………	2
■ 滋賀県議会議長就任挨拶……………	3
■ 前相談役挨拶……………	4
■ 役員名簿一覧(理事・監事、地区役員)……	5
■ 名簿一覧(支部役員、総務運営・職業訓練委員会委員、表彰者)……………	6
■ 地区だより……………	7~8

■ 総務運営委員長挨拶	
■ 職業訓練委員長挨拶……………	9
■ 実務講習会『水琴窟の作庭』……………	10
■ 青年部会活動報告・メンバー……………	11~12
■ 彦根市と防災協定締結……………	13
■ 安全衛生パトロール実施……………	14
■ 中退共制度について……………	14
■ 造園協会日誌……………	15



## 平成22年度 通常総会開催



挨拶する山村新会長

平成22年度社団法人滋賀県造園協会ならびに職業訓練法人滋賀県造園協会の通常総会は、去る5月26日(水)午後2時から、ピアザ淡海において会員92名(委任状提出者39名を含む)

の参加のなか、滋賀県知事(代理、古澤土木交通部技監)、県議会議長(谷県議会議長)等多数の来賓のご臨席を頂き、塚本副会長の開会のことにより盛大に開催しました。

はじめに、熊木喜一会長のあいさつがあり、「大規模な緊急経済対策が実施されたが建設部門は抑制策がとられ回復が遅れており、造園業界も大変厳しい状況である。公共事業も安ければよいとの風潮になっているが、的確な技能と適正な時間・費用が必要であり、低入札から脱却し、適正な価格の仕事による緑の創造が重要である。環境が非常に厳しいが、会員が一致団結し今まで培ってきた技能・技術を駆使して新しいニーズの造園の分野を提案できる素地を作り上げることが大切と考える。」との考えが示された。引き続き協会の発展に功績のあった功労者(5名)ならびに永年勤続者(8名)の表彰、また、長年協会相談役として協会の発展にご尽力頂き、昨年度末で退任された近藤公夫先生に感謝状の授与が行われました。

続いて、滋賀県知事の祝辞があり、知事は県庁本館正面玄関のプランターの設置と草花の植え替えにお礼を述べた後、「日ごろの仕事を通じ、“人”や“自然”が本来持っている潜在的な力を引き出すとともに、皆様の手によって作り出された空間により、人々の心に“安らぎ”をもたらしている。今後も“造園”という仕事を通じ、滋賀の未来を可能にする人材育成、豊かな自然や歴史文化が息づく美しい魅力あるまちづくりに向け、一

層の理解と協力を願いたい。」と結ばれた。

この後、総会議事に移りました。

議事では、近江八幡・蒲生支部の門野照氏を議長に選出し、議事録署名人には、大津南支部の浅井浩司氏、東近江支部の大橋俊浩氏の両名が指名され、社団法人滋賀県造園協会の平成21年度事業報告、収支決算および特別会計収支決算の3議案ならびに平成22年度事業計画(案)、収支予算(案)ならびに特別会計収支予算(案)の3議案が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決承認されました。

次に、職業訓練法人滋賀県造園協会の平成21年度事業報告、収支決算および特別会計収支決算の3議案ならびに平成22年度事業計画(案)、収支予算(案)および特別会計収支予算(案)の3議案、引き続いて任期満了に伴う協会役員の改選、



平成22年度 滋賀県造園協会 通常総会

5月26日、ピアザ淡海にて通常総会を開催

職業訓練法人滋賀県造園協会定款の一部改正が上程され、いずれも原案のとおり可決承認されました。

任期満了に伴う協会役員の改選では、別掲の方々が選任され、これからの2年間協会の運営に携わって頂くことになりました。造園協会の運営面や特に財政面での厳しい情勢の中、今一度原点に立ち戻り、会員の協調と技能の研鑽により、伝統滋賀の造園技法の伝承と潤いのある空間造りに関係役員の努力が強く求められることとなります。

## 会長就任挨拶

### 会長就任のご挨拶

(社)(職)滋賀県造園協会会長 山村文志郎



平素は造園協会の活動・運営に対しまして格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ここ数年、建設投資が減速感を強める中、造園業界におきましても公共事業の大幅な削減、又民間工事の減少等により大変厳しい状況になっております。しかし、私が造園業界に入りました昭和46年頃を振り返ってみますと、当時はほとんど公共事業もなく、民間工事だけで成り立っていました。昭和50年頃からは公共事業が増加し、それからの25年間位が民間工事も多く一番景気の良い時代でしたが、その間に造園業界が見失ったものも沢山あるように思います。

造園業界も今一度「原点」に立ち戻って、先人が時代と共に築き上げた伝統の造園技術を受け継ぎ、21世紀に求められる新しい造園を目指していくべきだと思っています。

会員の皆様には造園の「原点」を深く理解していただくために勉強会を開催し、身近な暮らしの中にある自然、風土、生活様式を視野に入れた感性を磨き、伎の研さんによって新しい造園というものを考えていただきたいと思っています。

また、本年10月には名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されます。生物多様性保全には造園協会会員や企業の積極的な取り組みが必要となってくると思います。

「みどり」は自然再生や生態系の保全に大きな役割を持っています。人の心に安らぎ、優しさ、潤いをもたらし、人々の暮らしの豊かさの中で欠くことの出来ない要素になっていると思います。また、地球温暖化対策やヒートアイランド対策、美しい国土・まちづくりのためにも必要不可欠なものです。

私は「地球上の生あるもの全ては植物によって生かされている」という信念を持って緑化に取り組み、緑を作り育てることを通じて、人にとって安心して安全な環境、健康的で豊かな環境の創出を目指し、より住みよい滋賀県になるよう、造園協会挙げて活動していきたいと思っています。

会員の皆様方及び関係各位のより一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



### 就任ごあいさつ

滋賀県議会議長 吉田 清一



社団法人 滋賀県造園協会の皆様におかれましては、日頃、造園事業を通じ、本県の緑化推進や景観形成、心安らぐ生活環境の創造に多大な貢献を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

私、4月の臨時県議会におきまして、滋賀県議会議長の要職に就任いたしました。長い歴史と伝統に培われた滋賀県議会にあって、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、県土の中央に母なる湖・琵琶湖を擁し、四方を緑豊かな山々に囲まれた自然豊かな滋賀県としましては、自然と人との共生を目指し、県民一丸となって各種環境施策を積極的に推進してきております。

みどりの果たす役割が高まる中、造園業界の皆様方が果たされる役割は、今後ますます重要となっていくものと存じます。皆様方におかれましては、これまでからも、専門的な造園技術や豊かな創造力をもって、本県のみどりを活かしたまちづくりに多大なご貢献をいただいているところであります。今後とも、自然と人間が共生するみどり豊かな美しい環境づくりの担い手として、存分にお力を発揮していただき、本県のさらなる発展のためにお力添えいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

私ども県議会といたしましても、豊かで魅力ある滋賀県を実現すべく、最大限努力してまいり所存であります。

結びにあたり、社団法人 滋賀県造園協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、就任のごあいさつとさせていただきます。



### ご挨拶

前相談役 近藤 公夫



縁あって滋賀県造園協会に十数年も相談役を務めさせて頂き、今春、大過なく退任を迎えましたが、その間に文部大臣と環境大臣の表彰に浴し、昨年は瑞宝中授章の叙勲を頂きましたがその影には、京都大学奉職から53年余り日本の内外におよんで造園界に活動させて頂いた私なりの人生がありました。

京都の銀閣寺に近く大文字山を仰いで育った私は幼時から滋賀県とは親しませて頂き、昭和10年（75年前）に浜大津から石山まで太湖汽船の蒸気船旅行をした思い出もあります。

近年は旧三高生として「周航の歌」歌碑の建立に設計と造園指導を勤め、彦根港の岸壁に“比良も伊吹も夢の如”見渡せる景勝を撰び、滋賀県出身の三高先輩、井村元京大総長の筆による石碑を据える機会も得ました。

近江での足跡は湖北竹生島から湖南信楽まで数えつくせないものがあります。

しかし今は感傷にひたる時ではありません。

近畿に数少ない人口増加県である滋賀県も、いわゆる失われた20年の不況を受け産業活動が停滞を免れない中に造園の分野も例外でないのは、この分野に活動される協会の各位が周知のところであります。



『日本庭園の歴史を考える』研修会

これを打開する英知が今こそ協会に求められております。

新しい発想が、今、必要なのです。

古くは教学の中心として比叡山を開き、近世には天下の流通を掌握した近江商人の故知に新しい挑戦の力は無限にあると信じます。

近江の里山に見られる豊かさの美ひとつを見ても、いわゆるエコの時代に求められる情報は数多く眠っています。

“今の時代に求められる造園のノウハウは小堀遠州の近江から”と言う信念を持って協会の各位が明日を信じて頂く希望こそ、協会の存在意義であり活動の原点ではないか、と考える昨今であります。



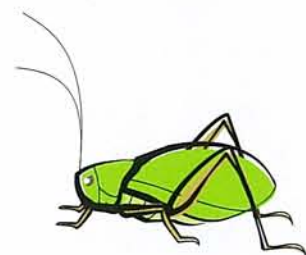
# 造園協会 平成22・23年度役員名簿一覽

## 理事・監事 (平成22年5月28日改選)

役職	氏名	事業所
会長	山村文志郎	花文造園土木(株)
副会長	高木 淳一	(株)高木造園
"	他谷 保	他谷石材造園
"	小西 新次	(株)宝山園
専務理事	高木 博	協会事務局
理事	川下 雅博	(株)川下造園
"	阪口 義人	(株)阪口
"	井之口博幸	(有)花園
"	奥田安都司	(株)中央樹景
"	田中 勉	田中庭園
"	西沢 傳夫	緑地開発(株)
"	奥田 哲郎	西村造園土木(株)
"	重野彦兵衛	(株)重野緑地建設
"	小川 勝見	(有)梅花園
"	武藤 晶男	(株)武藤造園
"	須賀 俊雄	(有)須賀造園
"	川島 清治	(有)川島造園
監事	富家 和夫	近畿花壇(株)
"	塚本 茂樹	(株)松花園
"	横井 昭次	税理士横井昭次事務所

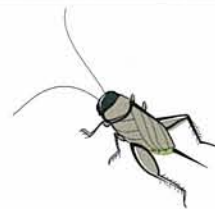
## 地区役員

役職	氏名	事業所
西地区		
地区長	阪口 義人	(株)阪口
副地区長	川下 雅博	(株)川下造園
"	川島 清治	(有)川島造園
事務長	藤木 四郎	藤木商店(株)
南地区		
地区長	西沢 傳夫	緑地開発(株)
副地区長	軌保 光俊	(有)玉川造園
"	徳永 俊治	徳永松寿園
事務長	奥田 哲郎	西村造園土木(株)
東地区		
地区長	武藤 晶男	(株)武藤造園
副地区長	重野彦兵衛	(株)重野緑地建設
事務長	小川 勝見	(有)梅花園
北地区		
地区長	須賀 俊雄	(有)須賀造園
副地区長	川窪 康弘	(有)川窪造園
事務長	那須 康人	那須緑地(株)



## 支部役員

支部名	役職	氏名	事業所
大津北支部	支部長	中塚 浩	中塚造園
	副支部長	藤井 佳弘	藤井造園
大津南支部	支部長	浅井 浩司	浅井造園
	副支部長	松田 健一	(有)松田造園
草津・栗東支部	支部長	松本 佳雄	(有)松本ガーデン
	副支部長	——	——
守山・野洲支部	支部長	奥野徳治郎	藤光ガーデン
	副支部長	中西 昭和	中西造園(株)
湖甲賀支部	支部長	小西 憲	(有)小西造園
	副支部長	野田ますみ	(株)野田建設造園部
近江八幡・蒲生支部	支部長	門野 照	(有)門野造園
	副支部長	武尾 幸造	武尾造園
東近江支部	支部長	大橋 俊浩	(有)大橋創園
	副支部長	佐野正一郎	(株)造園佐野
彦根・愛犬支部	支部長	奥川 勉	奥川造園
	副支部長	川窪 康弘	(有)川窪造園
長浜・米原・湖北支部	支部長	——	——
	副支部長	——	——
高島支部	支部長	上田 誠	(株)植空
	副支部長	石島美知代	美和工業(株)



## 総務運営委員会委員

役職	氏名	事業所	備考
委員長	武藤 晶男	(株)武藤造園	
副委員長	西沢 傳夫	緑地開発(株)	
"	須賀 俊雄	(有)須賀造園	
委員	石塚 政孝	(株)石定	
"	他谷 保	他谷石材造園	副会長、職業訓練担当
"	阪口 義人	(株)阪口	
"	井之口博幸	(有)花園	
"	小西 新次	(株)宝山園	副会長、青年部会担当
"	山村文志郎	花文造園土木(株)	会長
"	高木 淳一	(株)高木造園	副会長、総務運営担当
"	上田 誠	(株)植空	
"	重野彦兵衛	(株)重野緑地建設	職業訓練委員長

## 職業訓練委員会委員

役職	氏名	事業所	備考
委員長	重野彦兵衛	(株)重野緑地建設	
副委員長	浅井 浩司	浅井造園	
"	中西 肇	(株)中西園材	
"	川島 清治	(有)川島造園	
委員	稲田 英穂	(有)イナダガーデン	
"	川下 雅博	(株)川下造園	
"	松田 健一	(有)松田造園	
"	山元 明	山元造園(株)	
"	野田 清久	野田造園	
"	川窪 康弘	(有)川窪造園	

## 平成22年度 社団法人・職業訓練法人 滋賀県造園協会 表彰者名

### 1. 協会功労賞 (会長表彰)

大津北支部	平出 直厚	平出石材工業(株)
草津・栗東支部	松本 佳雄	(有)松本ガーデン
守山・野洲支部	外村 隆	(有)光葉園
近江八幡・蒲生支部	野口 徳治	野口造園
彦根・愛犬支部	川窪 康弘	(有)川窪造園

### 2. 永年勤続表彰 (会長表彰)

大津北支部	畑 多美也	(有)イナダガーデン
大津北支部	川崎 満	(株)川下造園
守山・野洲支部	平塚 英史	(株)宝山園
守山・野洲支部	大西 道晴	(株)宝山園
守山・野洲支部	中島 忠夫	(株)吉仁園
守山・野洲支部	中島五久夫	(株)吉仁園
東近江支部	川端 淳子	花文造園土木(株)
彦根・愛犬支部	大西 浩充	(株)高木造園

### 3. 感謝状

前相談役 近藤 公夫

(敬称略)



西地区

西地区活動報告と抱負

西地区長 阪口 義人

今年度も引き続き地区長をさせていただきます阪口です。

3月に大津市の震災時対応行動訓練に参加、4月には「おまつ花フェスタ」参加、青年部が洋風・和風ミニ庭園の展示を快く引き受けてくれ、青年部らしい庭をつくってくれました。私たち年輩者は、パーク堆肥の配布・みどりの募金チャリティーオークション開催運営など様々な参加や依頼をこなしています。造園協会の執行部も山村会長に代わり新執

行部の発信です。7月17日に会長との意見交換会も終わり、どのようにこれから先滋賀県造園協会は、進んでいくのか、協会はどうかあるべきか正念場に来ているように思われます。

西地区としても、より行政とスクラムを組む協会の模索しつつ、市民に緑の大切さや、造園工事（庭・外構）の必要性を事あるごとに訴えて行きたいと思っています。造園の必要性こそが、今いろんなところで行っているECOにつながるのだから。

22年度西地区事業計画(実施)表

担当部会	事業名	実施・予定	実施場所	参加人数	事業概要	備考
地区	幹事会	1月27日	吉田造園事務所	9人	22年事業について会議	
大津市(地区)	災害時対応訓練	3月23日	皇子山総合公園前	11人	訓練参加	
緑建地区	大津花フェスタ参加	4月23・24・25日	なぎさ公園	23人	パーク堆肥配布・即売会	青年部和洋ミニ庭園展示
地区	幹事会	5月21日	吉田造園事務所	10人	執行部員選出その他	
地区	災害予防	6月22日	大津市内	13人	実施点検	
大津市(地区)	公園施設安全確認点検	6月22日	4箇所に分けて			
地区	総合防災訓練	6月22日	別館大会議室	4人	合同調整会議	
大津市(地区)	会長と意見交換会	7月17日	緑水亭	24人	意見交換会	
大津市(地区)	総合防災訓練	7月26日	別館大会議室	1人	合同調整会議	
大津市(地区)	依頼事業	8月7日	柳が崎湖畔公園	9人	除草伐根協議	

南地区

会員相互の『和』を重視した事業計画

南地区長 西沢 傳夫

政権交代で「コンクリートから人へ」又、子供手当等福祉社会を目指し百年に1度と言った不景気の中に於いて公共事業の予算も大きく削減され、また円高で国の対応も遅れ先の見えない不況が続いております。人々の庭作りに掛けるお金も暮らしの為貯蓄にまわされる昨今、造園業者にはまことに厳しい状況となっています、それなればこそ地区会員が一致協力し共に発展する仲間作りに力を入れて行かなければならないと考えております。

去る7月21日南地区総会に於いて今年度の事業計画を承認して頂き、その計画に基づき順次進めて行きたいと思っています。まずは『和』を重視して地区会員と従業員等を対象にボーリング大会の開催を計画しています。造園技術の向上としまして県内造園業者が近年に施工した個人住宅の見学研修の開催、県外研修としまして全国都市緑化ならフェアへの日

帰り研修等を計画しています。

地区会員にアンケートを取り会員にメリットのある資格をより多くの会員に取得して頂けるよう資格習得講習会を開催いたします。

当南地区は6市の地域で構成されていますが、未だ1市も防災協定の締結が出来ておりません。各市の会員の声を聞きながら現在締結に向けての準備に着手しています。

最後に会員減少の中先ず力を入れて行きたい事として会員維持が第一と考え会員一人ひとりの親睦と和を重要視して会員増強に繋げて行きたいと考えております。

南地区会員の皆様方のご協力を得て今年度の事業に取り組んでいきます。

宜しくお願い致します。



東地区

更なる知識と意識の向上を

東地区長 武藤 晶男

造園協会の22年度通常総会開催後に東地区の総会を開催し、前年度決算報告等の承認、今年度事業計画・予算を検討いただき承認を得てスタートしました。

前年度計画事業の継続や新しい事業の計画などできるだけ推し進めて行きたいと思っています。特に防災協定の締結は、当地区もできるだけ早く各市と協定が締結できるよう協議を進める必要があると考えています。

また、今年が目玉事業としましては緑化庭園研修(全国都市緑化ならフェアやまと花ごよみ2010)の実施や、経営者のための講演会の開催には会員全員が参加していただくような内容にしていきたいと思っています。

地区で計画しています木づくり事業の推進や造園従事者の資格取得研修なども検討しています。事業予算を有意義に使っての事業活動を活発に進めていきたいと思っています。

また、協会の取組と合わせて会員募集への勧誘検討や他区の住民への協会会員の存在アピールや宣伝なども取り組むべき課題とっております。

地区事業を通じて全会員一丸となった活動を実施していきたいと思っています。

東地区をどうかよろしくお願いたします。



北地区

ボランティア活動事業を終えて

北地区長 須賀 俊雄

6月24日(実施)

地区事業の最初の行事のボランティア活動を実施し、13事業所が参加した。

平田町自治会から市への要望もあり、平田町の千鳥ヶ丘公園を取り巻く通称「雨壺山」道路に決定。道路際の伐木、剪定、除草の作業に汗を流す。2トンプ7台の草や枝葉を処分し、彦根市や地元自治会からも喜んで頂いた。

毎日新聞や滋賀産業新聞にも大きく掲載され、造園協会のPRにつながる。

18時から極楽湯で汗を流し慰労会を行い、今後の地区事業の計画などを話し合う。



伐木や剪定、除草の作業

7月30日(実施)

18時から料理旅館で、協会執行部との意見交換会を開催する。13事業者が参加して頂く。

内容は、会費問題で、入会金や地区助成金等を下げ

る方向の意見が大半を占めた。支部の還元金と地区の助成金との違いや、1・2・3号の格付と協会におけるランク分けの違い等を会員に説明して理解を得る必要性を感じた。また、今後の地区活動内容を充分検討する必要性を感じている。

8月28日(実施)

今年1月15日に彦根市と防災協定を締結したが、これに基づき彦根市が主催する防災訓練に参加し、道路の確保や倒木の処理訓練等を実施した。

この訓練は、8時30分から11時30分の予定で約30機関が参加する見込みであった。

なお、当日は参加者全員が真剣に訓練に取り組んだ。

以下は、具体的には検討されていないが、予定している主な行事として

9月から10月にかけて県内研修と青年部企画事業の参加を予定。

3月に県外研修と地区総会を予定。

会員の増強にあたっては、まず準会員扱いとして地区行事に参加して頂き、交流を持って協会に入会して頂く方法を考えてはどうかと思っています。



## 総務運営委員会への抱負等について

総務運営委員会委員長 武藤 晶男

平成22年度第2回総務運営委員会におきまして、  
図らずも私が委員長の職をとのことで選出をされ  
ました。私ごときそんな器ではありませんが、委  
員会目的であります造園業向上発展のための事業  
推進が、少しでも会員皆さんと共に執行部に反映  
して頂くべき役割としてお手伝いできたと思  
います。

協会は、現在いろいろな諸問題を抱えてきてお  
ります。特に組織や運営に関する事項では会員減  
また会費等の難しい懸案を、地区制になった中で  
協会特に各委員会の事業推進をいかにして進める  
のかなども検討課題だと思えます。

また、今年度は先月来協会執行部が各地区を巡  
回して地区の生の声を聞く機会も持たれました。  
このことも、今後の委員会を進める上でおおいに  
役立つことではと、地区毎の巡回結果内容などに  
期待をしています。前年度の協会又委員会・部会  
では会費、事務所問題、会員減の問題など沢山の  
山積した事案に取り組みられてこられました。各委  
員会等がありますが、各委員会や部会がそれぞ  
れの特徴を生かした事業を推進して協会発展のため  
に活動を進めていきたいと思っています。

会員の皆様には各委員会へのご意見やご協力を  
よろしくお願い致します。

## 職業訓練委員長挨拶

### 協会員の責務・信頼・誇りの獲得へ

職業訓練委員会委員長 重野彦兵衛



協会員の皆様には、お  
忙しい毎日をお過ごしのこと  
と拝察いたします。お変  
わりなくおいででしょうか。

私は、約十年の空き期間  
を経てこの度理事に推挙され、職業訓練委員会に  
配属され職業訓練委員長を拝命されました。浅学  
非才な私ではありますが、この重責を委員の皆様  
のご協力を得て全力傾倒し、各位のご期待にお応え  
申し上げます。

何卒、今後とも絶大なるご指導ご支援を賜り  
ますようお願い申し上げます。

職業訓練委員会に託される幅広い事業への積極  
的な取り組みと、山村協会長も強く傾注されてお  
られます原点復帰の想い、造園技能の向上、安全  
に対するの技能訓練、資格取得に向けての新たな  
展開を図っていきたく考えております。

造園技能の向上については、造園人としての原  
点であろう樹木剪定について科学する造園屋とし  
ての理論と実技の習得に鋭意努力を重ね、美しい  
湖国の緑づくりに向け協会員の責務と信頼と誇り  
の獲得に行動を起こして行きます。

安全に対するの取り組みについては、従来から  
協会が実施してきた業務に一層の研磨を行い、過  
去にも発生した不幸な人身事故に悔いた事例を再  
検証し再発の防止を図ると共に、続々と義務化さ  
れる各種技能・安全資格の取得に向けより簡便な  
機会、情報等を積極的に発信しヒューマン(人間)  
エラーの防止に少しでも寄与致したく考えており  
ます。

会員・従業員の皆様の積極的なご協力、ご参加  
の程、職業訓練委員会を代表してお願い申し上げ  
ます。

## 「水琴窟の作庭」

# 実務講習会

滋賀県には、江戸時代初期に活躍した小堀遠州が作庭した庭園や穴太衆積みなどがある。  
しかし、近年は生活様式の洋風化や経済不況等により、日本庭園を造  
ることが少なくなりつつあり、伝統ある技術・技法を継承できなくな  
ってきているのが現状であります。

そのため、小堀遠州が考案したとされ、日本庭園の趣を更に深める  
技法の一つである「水琴窟」の制作を取り上げ、その歴史や技術・技法  
を基礎から学び、実技を行って次世代に技術がつけるとともに会員の知  
識を深めることに寄与することで開催しました。



まずは、水琴窟が何処にでもあるようなものではない  
ことから、教林坊の水琴窟の見学が行われました。

受講者は16名で、2月から3月にかけての4日間で八  
日市南高等学校の敷地を利用させて頂き、座学と実技の  
講習を実施しました。

講師は、座学を江見先生にお願ひし、実技は江見先生  
と協会の職業訓練委員の皆様等が講師として参加頂きま  
した。

まず、初日は、水琴窟の歴史や技法を学びました。そ  
の後、現地の計測や教林坊での水琴窟や庭園を見学しました。

2日目は、水琴窟の計画・設計・見積等を行い、各班別に自作を発表し、意見交換を行いました。

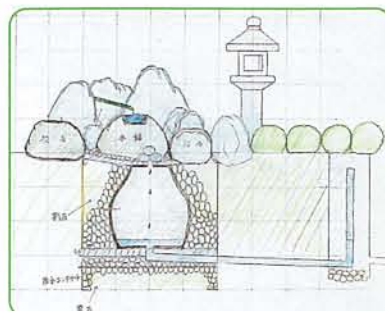
3日目と4日目は、いよいよ水琴窟の施工にかかりました。まずは地拵えに始まり、丁張りの設置や掘削等に取り掛かりました。その後、瓶の掘え付けや排水等を行い、順次仕上げに向けて施工していきました。植栽や砂利敷き等を行い完成となりました。

近年では、非常に少なくなった水琴窟の施工について、歴史を学び、自ら計画して施工するという貴重な体験が、今後大いに役立つものと思われました。

最後になりますが、講習場所を提供して頂いた八日市南高等学校の関係者の方々には、大変お世話になりありがとうございました。感謝申し上げます。(事務局)



自作を発表



平面計画図・断面図



掘削した穴に瓶を設置



完成した水琴窟



# 活動報告



## 青年部会 部会長 武藤 嘉辰

日頃は、青年部会活動へのご指導・ご協力誠にありがとうございます。

今年から部会長をさせていただきます武藤です。現在、青年部会員および各地区青年委員総勢27名で活動をさせていただいております。5月当初、部会員の増員を図り懇親会を行いスタートしました。それぞれ集まってくれる人は真剣にまた積極的に取り組んでいただき、各月の会議のもと今年の事業計画は年3回の県庁玄関前花植え、9月下旬にフェアの参加、10月に研修旅行、2月に勉強会を準備できました。

私も、青年部活動に携わり早10年になります。今まで毎年の部会長様を先頭に歩いてきて大変よかったです。また、継続発展していく考えです。

1. 交友関係のネットワークが滋賀県全域に広がり、仕事での相談や助け合い
2. 他府県への研修をすることにより、視野の拡大・知識教養
3. 社会へ貢献すること・緑を育てることへの意識

が自分には身に付きました。今後、各会社の若い社員の人にも地区の青年部会の輪に入ってもらい、一緒に成長していけたらと考えております。どうぞ、よろしくお願いします。

## 西地区青年委員 藤木 仁

西地区青年委員会は、滋賀県の西側にある造園業者の後継者（40歳位まで）を中心に活動しています。

近年の主な活動といたしましては、昨年は紫の道プロジェクトの一環としてなぎさ公園打出の森周辺に、さざなみの庭・源氏香の庭といったものを作庭することに参加をさせていただきました。この庭づくりでは、最終工程の作業を一般市民の方にも参加をいただき、共に作業を行いました。

今年に入ってから、滋賀県庁玄関前プランター花壇の植替えを、県職員の方と共にしました。

今後活動をしていく上で、緑を通じて私達が持っている知識や技術そして経験を地域貢献のために活かしていければと考えております。

## 南地区青年委員 中西 誠

南地区の青年委員会としては、知識や技術の向上を目指しながら会員同士の交流を深めていきたいと思っております。これからの時代を担う私たち青年の切磋琢磨と相互の交流が在ってこそ業界、そして協会の発展に繋がると考えるからです。

また、地区活動のみならず青年部全体での交流や事業等も積極的に参画していきたいと思っております。昨年の大津花フェスタでは「チェンジガーデン」や「チップクラフト」などの催しを青年部が丸となって取り組みました。結果として来場者の方々に喜んでいただき、また、協会のPRにも貢献できたのではないかと思います。

何よりも各地区の青年部が協力し、一つの目標を成し遂げることで互いの結束を強めることができました。

地区制の導入による戸惑いがいまだにあり、これからの活動は手探りの部分もありますが、将来の業界のあり方を見据えながら、少しずつ地区での活動を形にして行ければと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

## 東地区青年委員 吉井 旭

過度の森林伐採や地球温暖化、二酸化炭素増加を問題視される昨今、東地区青年委員会は造園を通じて地域のECO活動に全力で取り組む組織でありたいと考えております。

本当の意味でのECOとは何かという疑問に、私たち青年部会は緑を増やすことから始めるべきではないかという答えにたどり着きました。

エコカーや省エネ家電のようにECOに移行するのではなく、地球本来の姿、自然を元に戻すという観点から考え、「樹木により少しずつ緑を増やす」、それはまさに造園という私たちの分野がふさわしいのではないかと考えます。

そして、地域の皆様に少しでも造園はECOであるということを理解していただけるよう、取り組んで参りたいと考えております。

私たちの若い力は、まだまだ微力です。ですが、皆様のご協力があれば難しいものではないと思っております。地域の発展のため、次世代の子供達のために、どうか私たちにお力をお貸し下さいますよう、また、ご指導をよろしくお願いします。

## 北地区青年委員 橋本 嘉幸

北地区の青年委員をしています橋本農園の橋本です。主に植木等の販売をしています。

北地区の青年委員の活動としては、未だ何もしておりませんが、7月18～19日の2日間地元彦根の「いろは組」という庭師集団の庭園講習会に青年委員として参加してきました。彦根城近くのポケットパークや足軽屋敷の剪定を京都造形大学の講師を招き赤松などの剪定の仕方などを教わり、2日間ではありましたがとても勉強になりました。

今後も、このような庭園講習会が「いろは組」の方であるそうなので、北地区青年委員としましても、これからの個々の技術の向上や北地区のアピールに繋がる活動ができればと思っております。

これからも、どうぞ北地区をよろしくお願いいたします。



## 青年部会 メンバー

- ◆加入資格は、年齢が概ね40歳以下であることのみです。
- ◆青年部会に加入されたい方は、各地区のお知り合いに連絡をお願いします。

### ■西地区(10名)

稲田 洋	(有)イナダガーデン
寺下 真司	(株)近江庭園
川下 育廣	(株)川下造園
他谷 誠	他谷石材造園
藤木 仁	藤木商店(株)
河村 伸康	(株)カワムラ造園土木
辻井 博行	(株)辻井造園
松田 隼士	(有)松田造園
川島 稔雄	(有)川島造園
中村 真人	中村石材(株)

### ■東地区(9名)

浅田 賀英	(有)梅花園
吉井 旭	(株)吉井造園土木
中上 智行	(株)吉井造園土木
熊木 喜巳	(株)熊木共楽園
野田 穰	野田造園
三上 良樹	花久造園
西村 泰源	双葉緑化園芸
松居 隆史	松居農園(株)
武藤 嘉辰	(株)武藤造園

### ■南地区(4名)

竹村 寿次	竹村造園
外村 泰崇	(有)光葉園
中西 誠	(株)中西園材
西沢 健	緑地開発(株)

### ■北地区(4名)

岸 憲吾	(有)三京造園
古川 良則	(有)多賀植物園
見津 誠	野瀬造園(株)
橋本 嘉幸	橋本農園



## ■ 防災協定

平成22年1月15日 北地区と彦根市が締結

# 災害時における応急救援活動への 応援に関する協定

社団法人滋賀県造園協会北地区は、平成22年1月15日に彦根市役所で、彦根市と「災害時における応急救援活動への応援に関する協定」を締結しました。

調印式には、市側からは獅山彦根市長をはじめ、松田・藤井の両副市長、都市建設副参事や関係部局幹部らが出席され、当協会北地区からは高木副会長をはじめ、須賀地区長、那須事務長、奥川支部長、川窪副支部長ら6名が出席し執り行われました。

今回の協定は、彦根市が管理する公園施設およびその近接する区域における応急復旧、人命救助等に土木資機材、労力等を協力するとしております。

平成21年に西地区が大津市と締結しました協定内容と概ね同じであり、防災訓練への参加についても明記されています。

協定締結後、須賀地区長は「小型重機を使って身近な範囲で小回りが利く地域の造園業者としての特性を生かし、倒木の撤去など災害時の避難場所となる公園の安全確保等、応援活動に積極的に参加していきたい。」と述べられました。



災害時における応援活動に関する協定調印式



彦根市役所で行われた調印式

## 造園建設工事現場 安全衛生 パトロールについて

安全衛生パトロールの目的は、労働災害の発生原因である物的欠陥(不安全状態)や人的欠陥(不安全行動)を事前に発見して除去又は是正改善し、安全な状態、正しい作業行動および正しい管理によって安全を確保し、結果、健康で快適な職場を形成することにあります。

平成21年度パトロールは、2月10日(水)に実施しましたので報告します。

パトロール班員は、高木副会長を班長に、会長及び副会長、実施箇所の地区役員及び事務局が班員となり、現場点検を行いました。

パトロール点検箇所は、次の4箇所でした。

- ① 泉町金森緑地整備工事(守山市金森町)……………(株)京滋装園
- ② 瀬田湖岸緑地整備工事(大津市萱野浦)……………(株)阪口
- ③ 湖岸緑地中主吉川地区整備(その1)工事(野洲市吉川)……………花文造園土木(株)
- ④ 布引運動公園施設整備工事(東近江市芝原町)……………中西造園(株)

JR守山駅で班員がジャンボタクシーに乗り込み各現場へ向かい、現場で工事概要の説明を受けたのち、班員がチェックリストに基づき安全状況の点検を実施しました。

点検の結果、各現場ともチェックリストに基づき点検したところ、概ね良好でありました。

また、ある現場では、雇用能力開発機構の助成金を利用して仮設トイレを設置していた事例がありましたのを申し添えます。



安全点検をする班員ら

## 中小企業退職金共済制度(中退共制度)について

### ◇中退共制度とは

中小企業退職金共済制度(略称:中退共制度)とは、昭和34年に国の中小企業対策の一環として制定された「中小企業退職金共済法」に基づき設けられた制度です。

中小・零細企業において単独では退職金制度をもつことが困難である実情を考慮して、中小企業者の相互扶助の精神と国の援助で退職金制度を確立し、これによって中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図り、ひいては中小企業の振興と発展に寄与することを目的としています。

この制度の運営については、中小企業退職金共済法に基づき設立された「独立行政法人勤労者退職金共済機構(機構) 中小企業退職金共済事業本部(中退共)」が当たっています。

- ① 有利な国の助成……新しく中退共制度に加入する事業主および掛金月額を増額する事業主に掛金の一部を国が助成します。
- ② 簡単な管理……従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせしますので、退職金の管理が簡単です。
- ③ 掛金は非課税……掛金(過去勤務掛金を含む)は法人企業の場合は損金、個人企業の場合は必要経費として全額非課税となります。
- ④ 掛金月額の選択……掛金月額は、従業員ごとに16種類から選択できます。また、掛金月額は加入後いつでも変更できます。
- ⑤ 短時間労働者の特典……短時間労働者の方には、一般の従業員より低い特例掛金月額も用意しています。また、新規加入助成に上乘せがあります。

詳細については

中小企業退職金共済事業本部(略称:中退共) TEL.03-3436-0151(代表)  
<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>



# 造園協会日誌

## 1月

- 4日 仕事始め
- 8日 県関係各課年始挨拶回り  
建産連賀詞交歓会  
定例正副会長会議
- 15日 北地区防災協定調印式(彦根市)
- 21日 職業訓練委員会
- 22日 デュアルシステムコーディネーター委員会
- 25日 総務運営委員会 理事会
- 27日 労働保険事務組合研修会
- 29日 自由民主党滋賀県支部連合会22年度予算  
に対する聞き取り

## 2月

- 2日 定例正副会長会議
- 3日 地区長・支部長合同会議
- 10日 安全衛生パトロール
- 15日 社団法人検査
- 16日 短期講習(水琴窟の作庭)(~17日)
- 17日 職業訓練委員会
- 23日 キャリア形成促進助金に関する説明会

## 3月

- 3日 短期講習(水琴窟の作庭)実技(~4日)
- 4日 定例正副会長会議
- 8日 総務運営委員会 理事会
- 12日 経営管理後援会
- 29日 総務運営委員会 理事会

## 4月

- 17日 定例正副会長会議
- 21日 平成21年度監査
- 22日 (職)実施状況検査
- 23日 労働保険事務組合年度更新説明会
- 28日 総務運営委員会 理事会

## 5月

- 12日 新旧理事会
- 18日 青年部会
- 19日 労働保険事務組合総会
- 26日 平成22年度総会

## 6月

- 10日 定例正副会長会議
- 11日 建産連総会
- 16日 技能士会第1回理事会  
技能士会通常代議員会
- 21日 理事会
- 28日 定例正副会長会議  
職業訓練委員会 総務運営委員会
- 29日 青年部会
- 30日 地区役員・支部長合同会議

## 7月

- 1日 湖南農高デュアルシステムコーディネーター会議
- 5日 県内挨拶まわり
- 13日 造園技能検定準備講習会(要素)
- 14日 造園技能検定準備講習会(学科)(~15日)
- 17日 西地区との懇談会
- 21日 南地区との懇談会
- 22日 園芸装飾(実技)講習会
- 23日 建設業安全衛生大会
- 27日 造園施工管理技術検定準備講習(学科)(~28日)

- 30日 園芸装飾技能検定実技試験  
北地区との懇談会

## 8月

- 4日 造園技能検定準備講習会(実技)  
広報編集部 定例正副会長会議  
東地区との懇談会
- 13日 盆休(~16日)
- 18日 青年部会  
労働保険事務組合推進員研修会
- 25日 造園技能検定試験(実技)(~26日)

## 9月

- 1日 広報編集部
- 2日 総務運営委員会
- 5日 造園施工管理技術検定試験(1級学科)
- 6日 定例正副会長会議
- 15日 理事会

## ■■計 報■■

- ・田中造園 田中かず江様  
(田中豊次様のご母堂)(平成21年12月27日逝去)
- ・(有)光葉園 井狩留一様  
(外村隆様のご尊父)(平成22年1月1日逝去)
- ・双葉緑化園芸 西村須磨子様  
(西村明様のご母堂)(平成22年1月9日逝去)
- ・西村繁造園 西村繁太郎様  
(代表者)(平成22年7月3日逝去)
- ・(有)花園 井之口實様  
(井之口博幸様のご尊父)(平成22年8月25日逝去)
- ・(株)高木造園 高木芳子様  
(高木淳一様のご母堂)(平成22年9月14日逝去)

## ■■代表者の変更■■

- ◇大津北支部◇ [変更後] [変更前]  
(株)近江庭園 寺下真司 寺下弘  
久保造園 久保卓也 久保久伍  
中塚造園 中塚浩 中塚誠介
- ◇大津南支部◇  
(株)カワムラ造園土木 河村伸泰 河村秀夫

## ■■事業所名の変更■■

- ◇東近江支部◇ [変更後] [変更前]  
片山建設 片山建設造園部

## ■■入 会■■ (平成22年5月6日付け)

- ◇東近江支部◇  
華久(はなひさ) 澤 洋久

## ■■人 事■■

- ・事務局長 高木 博(平成22年4月1日付け)
- ・専務理事 高木 博(平成22年5月28日付け)



## 協会からのお願い

会員・従業員の皆様から、身近な出来事、ご提言、ご意見等を事務局までお寄せ下さい。  
「しゅうけい滋賀」の記事として掲載させていただきます。本誌を、会員の皆様の情報交換の場としてもご活用下さい。